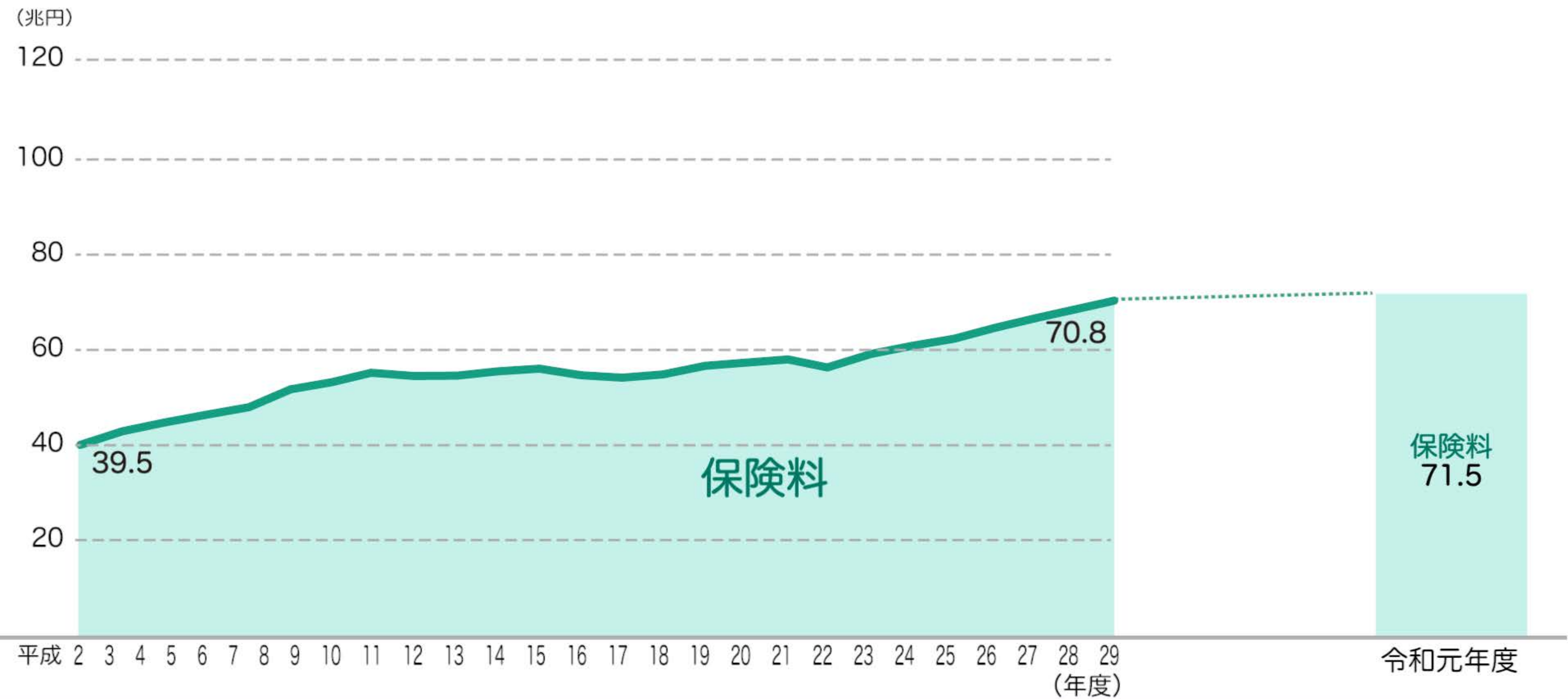
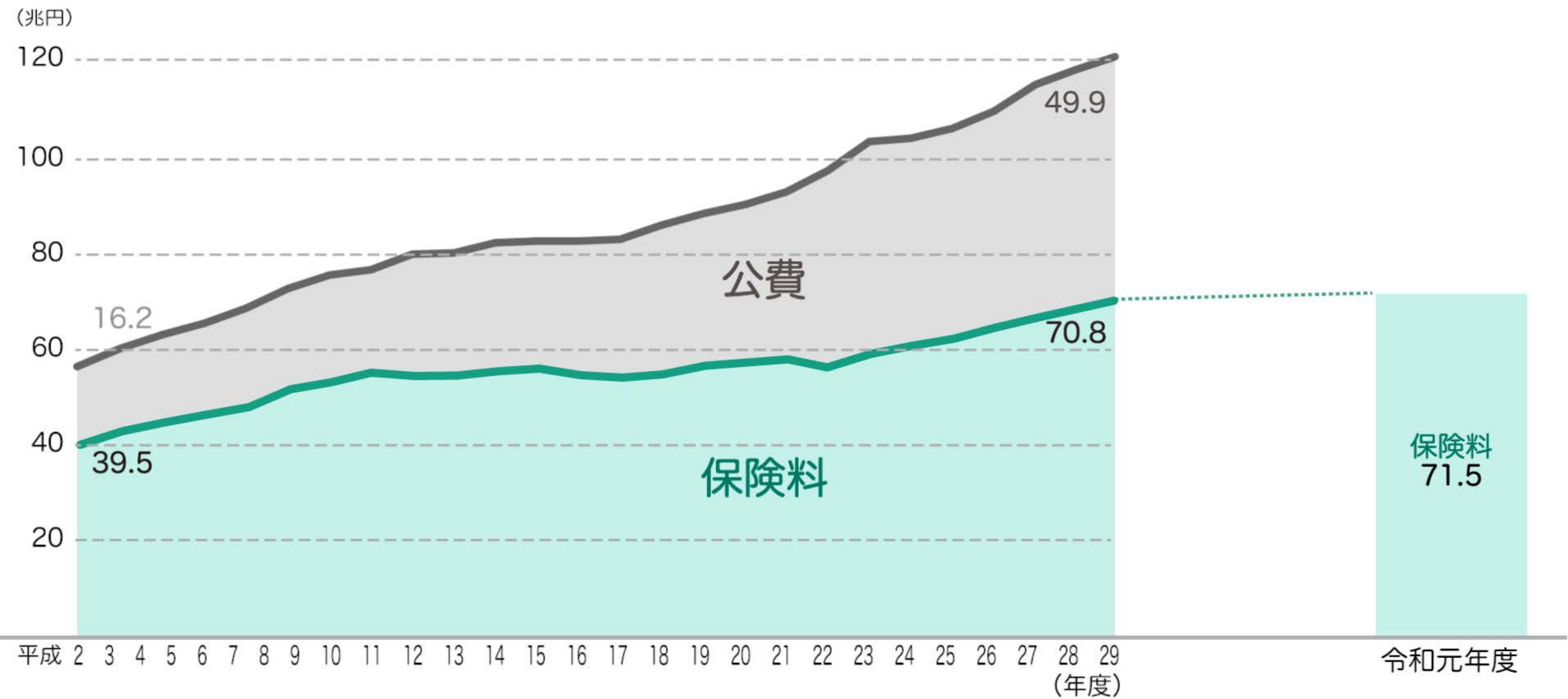


社会保障の費用と、その財源は  
どのように変化してきた？

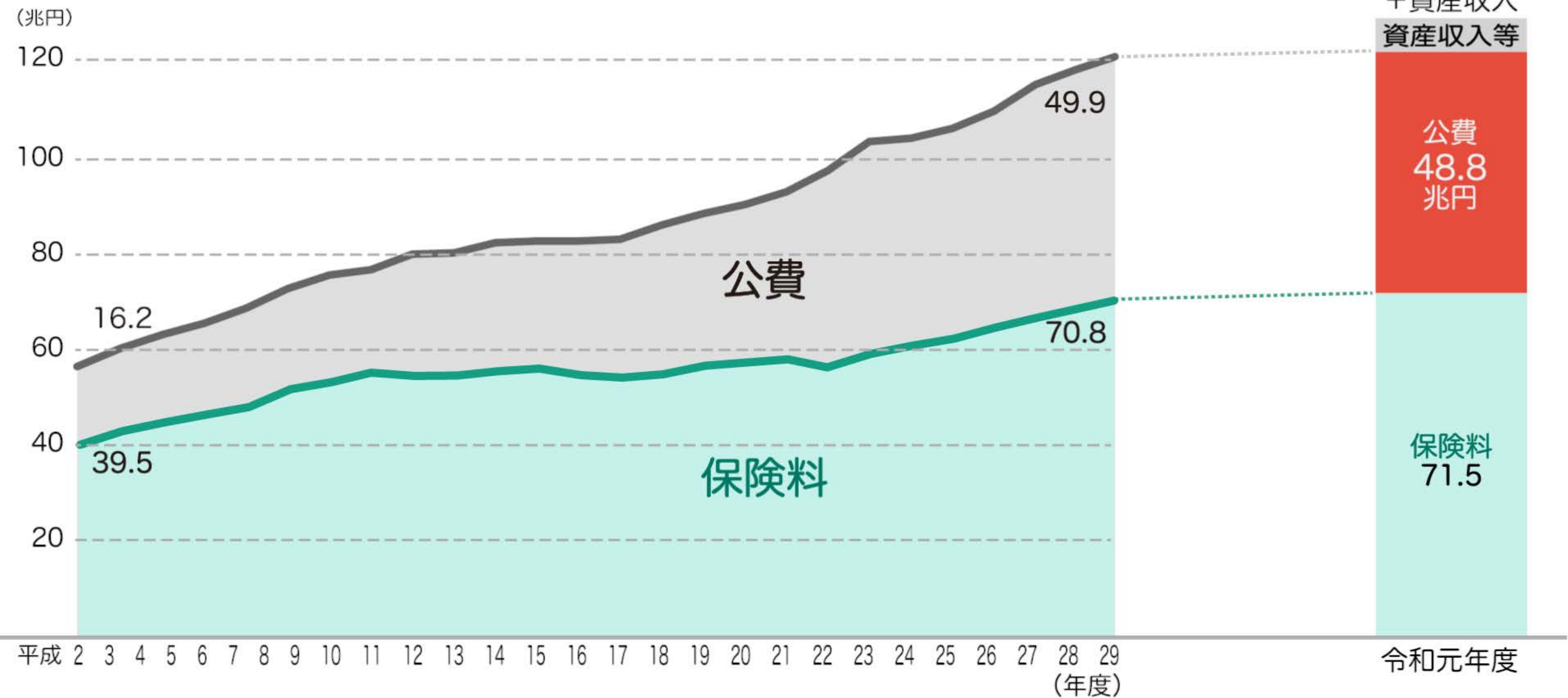


日本の社会保障制度は、社会保険方式を採りながら、

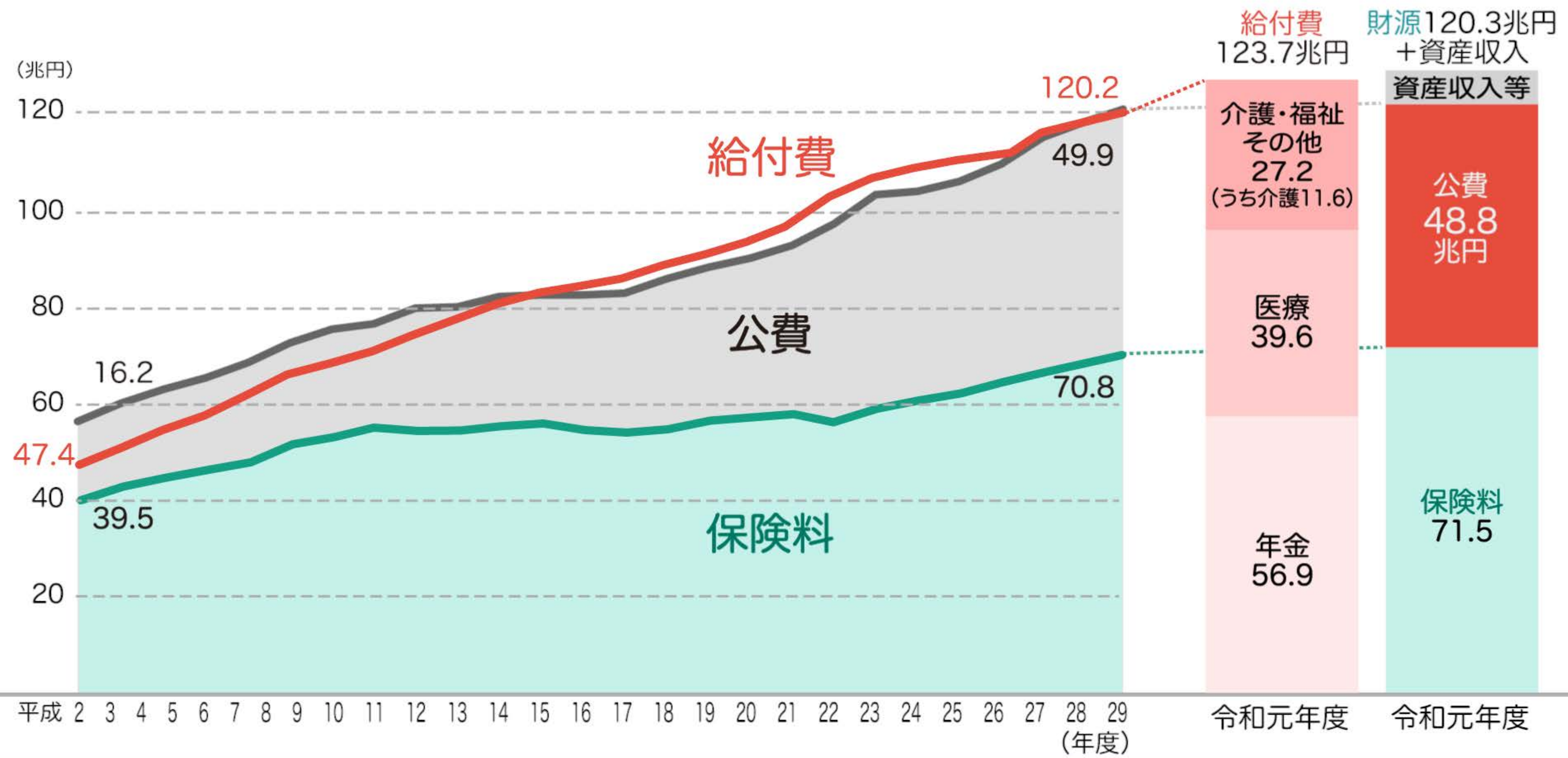


高齢者医療・介護給付費の5割を公費でまかなうなど、

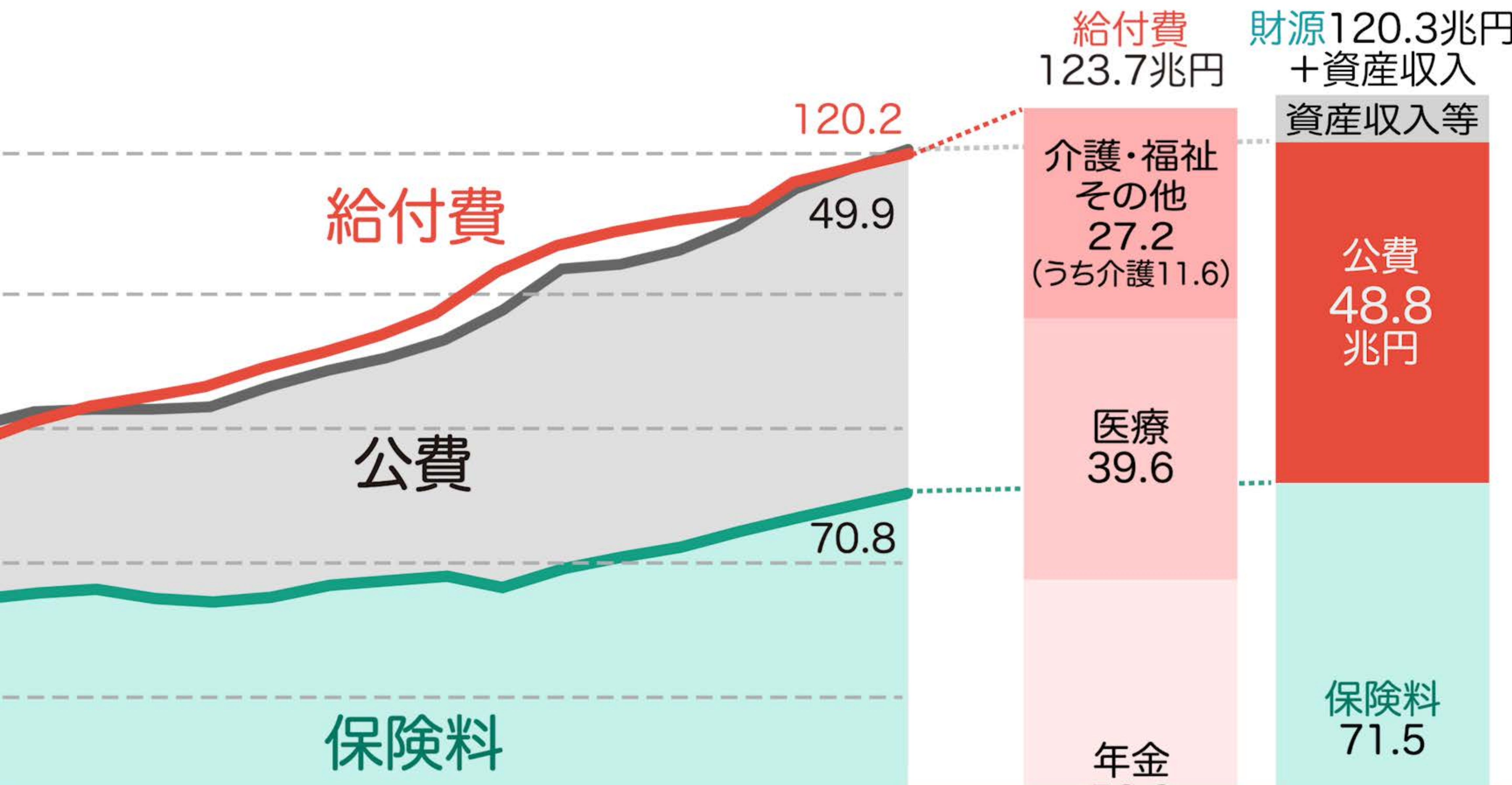
財源120.3兆円  
+資産収入  
資産収入等



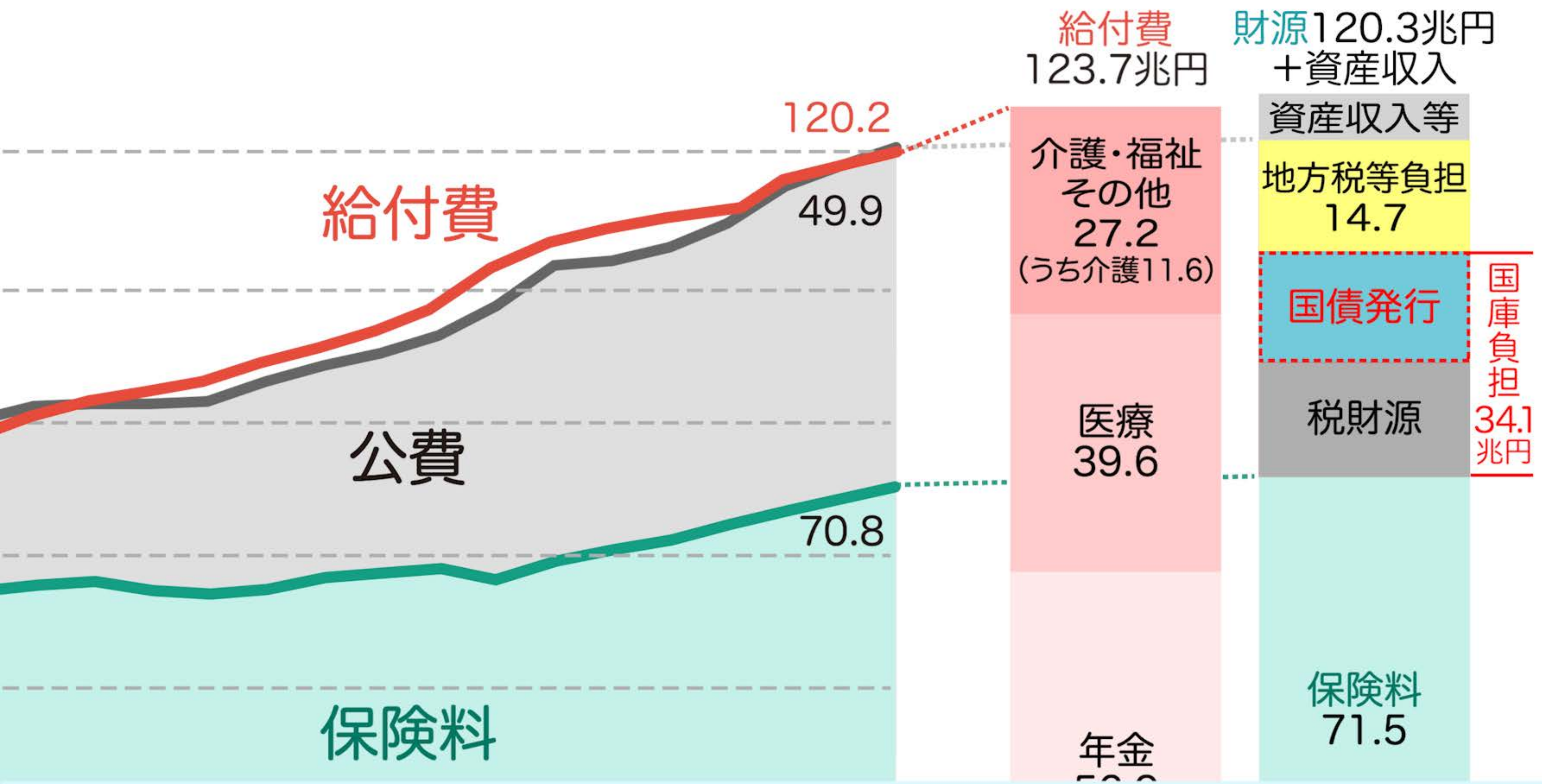
公費負担に相当程度依存しています。



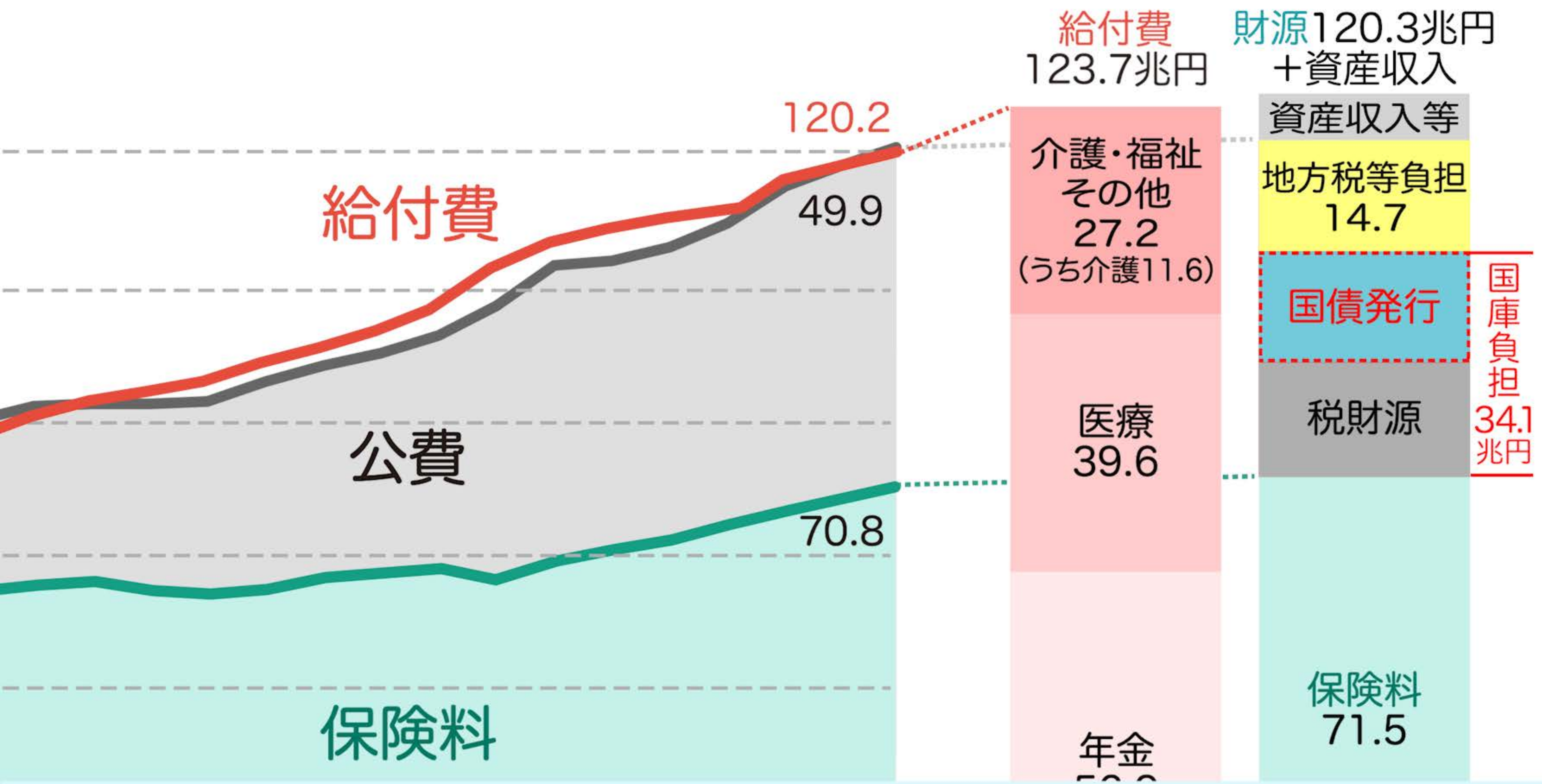
その結果、近年、高齢者医療・介護給付費の増加に伴い



負担増は公費に集中しています。



これをまかなう財源を確保できていないため、給付と負担のバランスが損なわれ、



将来世代に負担を先送りしています。